



ふれあい支え合い助け合い

第12号 2019年3月31日 発行

# いきいきネット通信

発行者 東海小・中学校区

小域福祉ネットワーク

会長 苅米 榮次

編集責任者 広報部長 庄司 宏

## 「日々好日」

会長 苅米 榮次

東海・海上地区民の皆様には相変わらず本小域福祉ネットワークに対し、ご支援ご協力を賜り御礼申し上げます。

今期も概ね予定通りの事業運営であったことをご報告するとともに、引き続き地域福祉向上に努めてまいります。各部会の報告と重複があるかもしれませんがネットワークの視点から昨今の動向等をお知らせし挨拶とさせていただきます。

防災関係として、各小学校を単位とするエリアを基本とした地域防災計画を策定する方向が市原市から示されました。今後、行政ならびに地区町会長会等の動向を注視していきたいと考えています。

住民の見守り活動として、主として今富地区の児童が登下校に利用していた小湊バス路線の廃止を契機に交通空白地域となった東海・海上地区の今後の対応

について、行政側との意見交換会等が行われました。

これに関しても町会長会等と協働してまいりたいと考えています。

高齢者の見守りについては、担当

する安心訪問員、見守りを希望している人を有する町会長を含め関係者との情報交換会を実施しました。今後とも、より良いその有り方について検討してまいります。子ども達の見守りについては、減少化の一途にある事から継続的な取り組みをお願い申し上げます。



## 防災の基本Ⅱ

防災部会長 山越 照太郎

大規模な災害が発生すると、行政職員等が被災者となるなど、行政機能が麻痺し、防災活動の限界が危惧されます。

大勢の死者、行方不明者を出した阪神・淡路大震災では、倒壊した建物等から救出された者の約8割が、家族や近隣住民等によって救出され、防災機関によって救出された者は約2割でした。

防災機関が被災者を十分に支援出来ないことが原因で、自助・共助による救助率が高くなるため、住民自身による共助が災害対策には重要となります。

東海地区では、全てと言っていいほどの町会において、地域住民が自主的に防災活動を行う自主防災組織を結成していますが、殆ど実態が無いか、休眠状態の地域が大半です。被災者の様々な支援に応えるためには、自主防災組織の活性化を図る必要があります。先ずは、町会の総会など、多くの人が集まる機会を捉え、防災講習会や防災訓練を行うことなどから始めて下さい。徐々に動く人を増やすことを当面の目標とし、何れは、自主防災組織に求められる機能を十分に発揮できる組織として下さい。

防災は勿論のこと、犯罪や事故をも無くすためには、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を持って行動出来る人を増やすことが大切です、一層の取り組みをお願いします。

## 青少年部会の活動

青少年部会長 森田 浩道

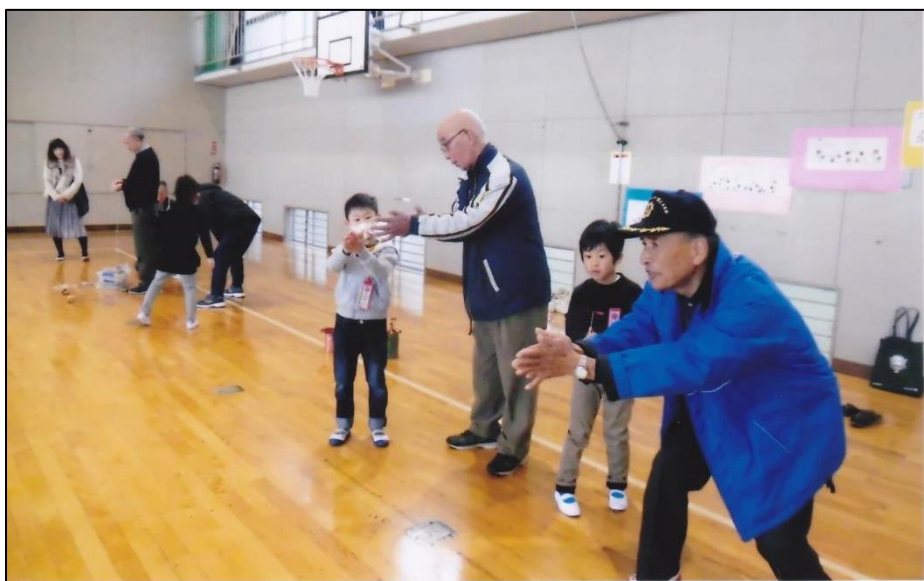
今年度は、昨年度と同じく子どもの健全育成の推進を図ることとし、登下校時における安全な見守り体制への取り組みを実施するとともに、児童との交流の場づくりの推進を図りました。

活動内容は、毎週第2水曜日に小学生の登下校時に『挨拶・声掛け運動（見守り、安全指導）』を、保護者・環境部会員等の皆様と行いました。

児童との交流につきましては、学校にご協力いただき、1月18日に一年生の『お正月の遊び・昔の遊び』をゲストティーチャーとして参加しました。おはじき・あやとり・お手玉・だるま落とし・ぶんぶんごま・竹とんぼ・竹ぼっくり・羽根つき・コマ・ベーゴマ・めんこ・けん玉と、遊びの種類は数多く、保護者、地域の皆さん、地域福祉ネットワークのゲストティーチャーが、各遊びに分かれて、遊び方やコツを教えて一緒に遊びました。今回初めての遊びが上手く出来た時、喜びを体いっぱい表現する児童の姿は私たちも嬉しくなりました。児童も大人も夢中になり、世代を超えたつながりを深めた有意義な時間となりました。

なお、夏に開催を計画した全校児童参加によるサマースクール『楽しい工作教室』は、猛暑の為残念ながら中止となりました。

今後も、子ども達を地域全体で見守っていただけますようお願いいたします。





## 標語の選定について

東海小・中学区民会議会長 藤田昌孝

日頃より、学区民会議の活動にご理解とご協力を賜り有難うございます。

学区民会議は地区の安全、安心を心がけ、地域の青少年健全育成活動を進めています。事業の一つとして東海小・中学校の生徒から「地域を明るくする」「地域の安全・安心を考える」標語の募集を行っています。

選定の結果については、学区民会議の広報誌である「フレンド」で報告すべきところではありますが、皆様に早くご報告したいとの思いから、この誌面をお借りしてご報告させていただきます。

平成30年度は、東海中学校に標語の募集をお願いし、12月7日いきいきセンター東海・海上会場において、役員・理事による選定会議を開催しました。作品の選定は難しいものでしたが、最優秀賞2作品、優秀賞4作品を選定しました。

最優秀賞の標語については、立て看板を製作し、廿五里新田町会自治会館前に設置しました。



### 【最優秀賞作品】

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ① あいさつの 笑顔でつなぐ 地域の輪   | 秋山素菜 |
| ② あいさつは みんなをつなぐ パスワード | 櫻井遥月 |

### 【優秀賞作品】

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ① 挨拶は みんなの笑顔の まほうだよ！  | 米本響  |
| ② あいさつは してもされても いい気分  | 小松東暉 |
| ③ おはようで 始まる一日 暖かい     | 泉侑真  |
| ④ 「おはよう」は 心を合わせ 目も合わせ | 地引識乃 |

## 地域活動（通いの場事業 ・学校支援ボランティア）の紹介

会長 苅米 榮次

東海小学校南門入口の信号機付き横断歩道で登校時の子ども達の見守りをされている下川原町会の石橋町会長と牧野正子さんと知り合ったご縁で、下川原町会のご婦人方が実施している週一回通いの場事業と、中山早苗さんと牧野さんらが始められた学校支援ボランティアで実施している東海小学校の児童に対する「読み聞かせ」について、現場見学を踏まえて報告させていただきます。今後、各町会あるいは各種団

体の活動を順次紹介できればと考えています。

通いの場事業は「下川原通いの場」の名称で毎週木曜日の午後1時30分から2時間程、下川原自治会館で「いいあんばい体操、ラジオ体操、茶話会（月末の活動日のみ）」を18人のメンバーで行っています。健康維持と親睦が主たる目的との事、個々に適度な負荷がかかる運動を和気あいあいとされていて、これが長続きの一因と感じました。市に申請すると若干の補助金や「いちほらポイントカード」の特典もあるとのこと。

読み聞かせは、毎週火曜日の朝8時から15分程度、各学年の教室を訪問し児童の成長に対応した物語を

主として絵本を使用し読み上げています。（2人で2学年を担当）現在5～6名で実施し適宜学校側（校長・読書指導員）と調整し年間計画に則り行っているとのこと、今年は6年生を送る主旨で指人形劇を上演しました。リハーサルを見学させていただきましたが、統一したコスチュームで手



作りとは思えない立派な大道具等も用意され、その熱意に感服しました。興味のある方は是非相談願いたいとのこと申し添えます。



### 3 B体操で楽しく健康づくり 金川原みどりの会 加瀬 秀子

私が3 B体操を始めたきっかけは、八十歳を過ぎたある日ふっと考えました。今突然寝たきりになったら、子供や孫達に迷惑をかけるだろうから、何か軽い運動でもしてみようかな！と。

そんな時たまたま国分寺公民館で3 B体操があると知り参加しました。2時間前後の運動ながら、終わった後に味わった爽快感に、これなら無理なく続けられると思いました。

そして昨年5月「いきいきセンター東海・海上」の会場でも3 B体操教室が開かれていることを知りました。会場に通うにも歩い

て程よい距離なので、近隣の同世代の仲間とおしゃべりしながら会場へ向かい、休憩時間には他の参加者たちとも情報交換をしたりして、音楽を楽しみながら無理なく健康づくりができます。

体操は演歌や童謡の音楽に合わせて、ベルダーやベルといった補助用具を使い、普段使わない筋肉を動かしたり、椅子を使って「指、手、足」の運動や頭の体操をし、大いに笑い程よい汗をかき、体も心も爽やかに明日の活力に生かしています。

3 B体操は、誰でも気軽に無理なく身体を動かし、楽しんで出来る体操です。みなさんも参加して見ませんか！



和気あいあいと運動している様子



ベルという道具を使った頭の体操



## いきいき広場の活動状況について

運営協議会会長 秋葉 茂樹

地区民の皆様には、平素よりいきいきセンター事業活動にご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、運営協議会の運営にあたり各町会の皆様から助成金としてご支援をいただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、今年度事業も2月開催を持って、お蔭様で全て終了することができました。これもひとえに皆様方にご協力をいただいた結果だと存じます。

今後も「いきいき広場」において地区民の皆様が気軽に参加できるような事業を計画してまいります。



ふる里の歴史を学び  
地区民の交流を図る会

なお、今のところ、「いきいき広場」の使用について団体登録が1件しかございませんので、今後広場を活用したい方は申し出てください。



ブリザーブドフラワー作り教室



高齢者交通安全教室



地区対抗輪投げ大会



ブリザーブドフラワー作り教室